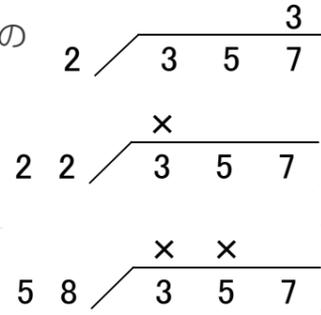


第10回 まなびん から  
4年生

4年生は、今、「2桁÷2桁」、あるいは「3桁÷2桁」のわり算の学習をしています。そこで、今回は、1学期に学習をした「2桁÷1桁」、あるいは「3桁÷1桁」の計算問題を出しましたが、「÷2桁」と混乱をしているのか、右のように、一位だけに答えを書いて終わっている子どもが何人もいました。筆算の仕組みを理解することなく、筆算のやり方だけを覚えてしまっている子どもたちによく見られる間違いです。「÷2桁」の計算では、右の×の位置には数字を書くことはありません。見た目では「35」ですが、ここでは「350÷22」「350÷58」をしていることを理解し、答えのおよその見当をつけて計算ができるようになることが大切です。



5・6年生  
右のような問題には、2つの条件が示されていました。

- ① 〈話した内容〉の中から「 」を使って取り出す。
- ② 〈表情や声の様子〉の中の内容を合わせて、一文で書くこと。

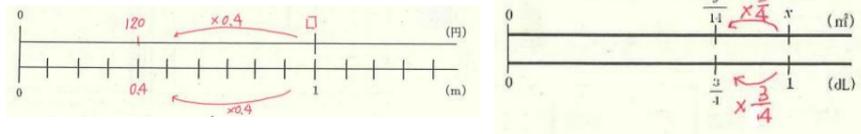
【前田さんへのインタビューの様子】

条件	話した内容	表情や声の様子
○ 部のおわせヒノキのみりよく分かる言葉(「話した内容」の中から「 」を使って取り出し、その言葉と「表情や声の様子」の中の内容を合わせて、一文で書くこと。)	「おわせヒノキのみりよく多くの人たちに伝えたいと思い、小物づくりを始めました。おわせヒノキはかおりが良く、手ざわりもとても気持ちがいいですよ。みなさんに、お気に入りの小物を見つけて使ってほしいと思っています。お店に来ていただいた時には、声をかけてくださいね。」	・にこにこしている ・明るい声

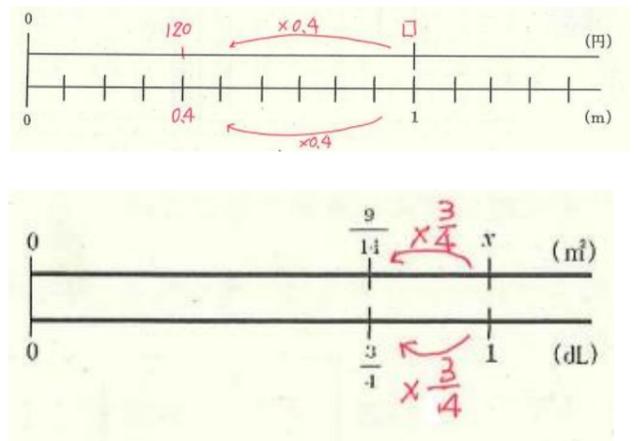
①のように「取り出す」「抜き出す」と書かれている場合には、基本、文末も含め、文章は変えずに、そのままを書き抜きます。ここでは、「おわせヒノキはかおりが良く、手ざわりもとても気持ちがいいですよ。」のところを、漢字も含め、書き抜くことになります。さらに、〈表情や声の様子〉には、2つのことが書かれているので、2つとも書かなくてはなりません。

5・6年生  
算数では、右のような道具を用いて、数の関係を捉え、その図を根拠に、たし算、ひき算、かけ算、わり算のいずれの計算をして求めれば良いかを考える学習を、1年生から積み上げていきます。

今回は、5年生と6年生ともに、下のようなかかけ算やわり算に係る数直線の問題を出しました。



どちらの場合も、まずは、この図が描けなくてはなりません。その上で、5年生では「1mが0.4mになったので、0.4倍(1×0.4)になっている」、6年生では、「1dLが3/4dLになったので、3/4倍(1×3/4)になっている」ことを右のように書くことは必要です。矢印のスタートは、必ず「1」です。そうすると、それぞれが、「□を0.4倍すると120になる」「xを3/4倍すると9/14になる



$x \times 3/4 = 9/14$ 」ということが分かり、あとは、それぞれ□やxの数を求めればよいということになります。かけ算なのか、わり算なのかを悩むのではなく、大切なのは、図をもとに、「□×0.4=120」や「 $x \times 3/4 = 9/14$ 」といったかけ算の式に表せるようになることです。

2年生 図工「ふしぎなたまご」

2年生の図工では、たまごから生まれてくるものを想像して、たまごの模様や生まれたものを絵に表す「ふしぎなたまご」という作品作りに取り組んでいます。「たまごから何が生まれてくるかな?」と問いかけられた子どもたちからは、生き物だけではなく、自分が好きなものや大事にしているものなど、様々な答えが返ってきました。一人一人、色や形、かき方を工夫して、楽しそうに描いていました。



伊賀市内でもインフルエンザや新型コロナウイルスが流行しています

急激な気温の変化に、体調を崩し気味の子どもが多くいます。来週は、修学旅行や5年生の校外学習も予定しています。みんなが元気に参加できるように、ご家族みなさんと、健康管理に努めていただきますようお願いいたします。

数直線 (数の線)	
テープ図 (加法・減法)	あわせて14こ 
	318まい 225まい 
テープ図 (乗法・除法)	
2本の数直線 (比例数直線)	